

百周年を迎える新潟県人会

百年前までは新潟県が日本一

かつては海運の主流は日本海航路を通る北前船でした。新潟はその海運の一大集散地であり、全国一の港でした。

今から百十一年前の明治三十一年に東京に抜かれるまでは、新潟県の人口が全国で一番多く、豊かな地域でした。東京新潟県人会のルーツの『北陸親睦会』が創立したのは、百三十年前になります。このときの新潟県の人口は百五十五万人で東京は九十六万人でした。新潟の人口は東京の一、六倍もある大変に元気だった時期に新潟県人会が発足したことになります。

最近、函館港を加えた五都市が連携して「日本開港五都市観光協議会」が結成されています。港も新潟が一番だったのです。

東京人の三割は新潟県人？

Jネットと県人会

明治二十一年からの三十年間だけでもおよそ五十万人の新潟県人が東京へ移動したと思われます。この時点で、東京の人口の十五パーセントは新潟県出身者でした。その後の金の卵と言われ集団就職列車での大量の上京者を考えると、かなりの新潟県出身者が東京に在住していることになりました。ですから、今、東京に住んでいる人の先祖を四代遡ると三割の人が新潟県人に行きつくと言われていす。

ですから、Jネットの会員の皆様は東京湯島にある新潟県人会館の施設の利用が出来ます。

会議室やホール、宿泊施設などのご利用を希望される方はJネット事務局へご連絡ください。



朱鷺メッセ

百周年記念事業

東京新潟県人会では、新潟県と共同で、左記の事業を行います。

○創立百周年記念式典

期日 平成二十一年一月三十一日(土)

場所 グランドプリンスホテル新高輪

毛利衛さんの講演があります。

○新潟県人会と県民の大交流祭

期日 平成二十一年九月二十五日

(土)・二十六日(日)

場所 朱鷺メッセ(新潟市)

新潟大物産展、大交流会、オペラ「タ鶴」、米村でんじろうサイエンス教室、エコ・カーが当たる「大抽選会」など盛り沢山の行事が計画されています。

東京新潟県人会

東京新潟県人会のルーツは、一八八〇年(明治十三年)新発田出身の大倉喜八郎、前島密、石黒忠恵らと開いた北陸親睦会とあります。

東京新潟県人会として発足したのは、一九一〇年(明治四十三年)というから、来年が丁度百年目にあたります。

その後ダイヤモンド社の創立者である石山賢吉氏ら歴代会長役員のご努力により今日の隆盛を迎えています。

現在の平会長が丁度十代目で、歴代の会長を列記すると左記のようになります。

- ①大倉喜八郎氏 ②大倉喜七郎氏、
- ③石山賢吉氏、 ④芳沢謙吉氏、
- ⑤石山賢吉氏、 ⑥加藤清二郎氏、
- ⑦小沢辰男氏、 ⑧米山稔氏、
- ⑨米山一氏、 ⑩平辰氏

新潟港は全国一の港

(編集部)